

多目的医療用ヘリとは

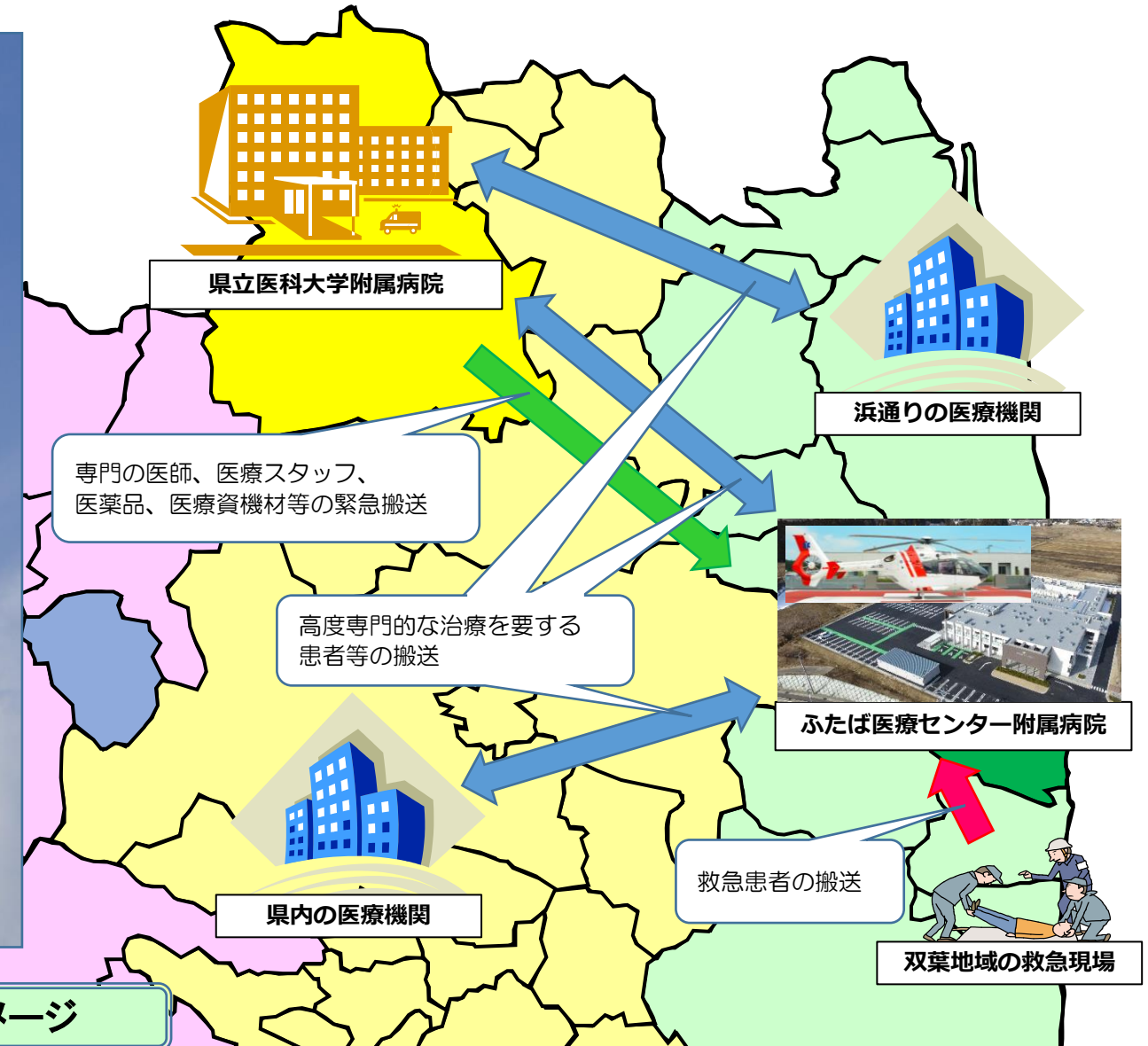
- 県が新たに導入する医療用のヘリコプターです。
- ふたば医療センター附属病院が運航基地となり、双葉地域の救急現場や浜通りの医療機関を中心に運航するものです。
- このようなヘリの公立病院での導入は、全国でも例のない取組です。

多目的医療用ヘリの運航内容は

- 双葉地域で発生した救急患者への対応
 - ⇒ ドクターヘリは、生命の危険が切迫している重症患者に対応しています。
 - 多目的医療用ヘリは、ドクターヘリの対象とならない比較的軽症の患者搬送を担当します。
- 浜通りの医療機関と高度専門的な治療が行える医療機関間の患者搬送
- 専門の医師、医療スタッフや医薬品、医療資機材の緊急搬送

多目的医療用ヘリ導入の効果は

- 双葉地域での救急医療の質の向上
- 医療機関への搬送時間が短縮
 - ⇒ これにより、対象患者の重症化防止や移動中の負担軽減を図ることができます。



運航体制

- 事業主体 福島県
 - … 福島県立医科大学（医大）へ運航業務を委託（機体、操縦士等の確保は運航会社が受託）
- 基地病院 福島県ふたば医療センター附属病院（センター附属病院）
 - … 日中はセンター附属病院ヘリポートにヘリが常駐
 - 夜間は整備等のため医大附属病院格納庫にヘリを収容
- 運航管理 福島県ドクターヘリの運航と連携して行う
 - … 運航管理を行う通信センターは医大附属病院内に設置
- 搭乗人員 操縦士・整備士各1名
患者、センター附属病院の医師・医療スタッフ、付添い者
- 機種 福島県ドクターヘリと同等の機種
 - … エアバス式EC135型 又は ベル式Bell429型
- 離着陸場 航空局の許可を得た県内医療機関ヘリポートやグラウンドなど

運航イメージ

